

ひよこ組

年少組

深まる秋を感じながら自然とふれあうひよこ組です。
園庭に出ると、キンモクセイの花を摘もうとしたり、いちょうの葉っぱを見つけては保育者にかわいい仕草で渡してくれます。
室内遊びでは、指先を使うシール貼りやお絵かきが大好きです。クレヨンで力強い線を描いたり、トントンと叩いて表現したりして楽しそうです。
先月、初めて香取神社へ散歩に行きました。すぐ近くを電車が通るので、子どもたちは大興奮。小さい手を一生懸命振っていました。天気の良い日はいろいろな所へ散歩に行きたいと思っています。
「寒い」と感じる日が多くなってきました。体調を崩しやすい季節ですので体調管理に気をつけて元気に過ごしていきましょう。今月もよろしく願いいたします。

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。上着を着る機会が増えてきますので、着脱や畳み方について知らせていきます。ご家庭でも練習をしてみてください。また、この季節は風邪やインフルエンザの流行が気になる時期ですので、手洗いの仕方を再度確認し、習慣づけていきましょう。

11月は子どもたちが楽しみにしている「お店やさんごっこ」が行われます。ばら組はスイーツ屋さん、ゆり組はアクセサリー屋さんを開きます。廃材を使って一生懸命商品を作り、店員さんになりきって「いらっしゃいませ」や「ありがとうございます」も練習しました。お店やさんごっこを通して、友だちとのコミュニケーションの楽しさを味わいたいと思います。

こあら組

年中組

爽やかな秋晴れが続き、過ごしやすくなりました。
運動会にはご参加いただきありがとうございます。初めてで泣いてしまったお子さまたちも、保護者の方に抱っこされながら、また、一緒に走ってみたり楽しむ姿が見られました。
10月は香取神社へ散歩に行きました。初めての場所にドキドキしながらも境内を探索したり、近くで見られる電車に「電車だー！」と大興奮で手を振ったり、喜んでいました。今後もたくさん散歩に行きたいと思っています。
朝晩は特に冷え込むようになりましたので、子どもの体調の変化に気を配りたいと思います。衣替えに伴い、園で使用する物だけでなく、通園用の上着や靴などにも改めて記名をしていただけますようお願いいたします。

気温が下がり、寒さを感じて上着を着てくるお子さまも多くなりました。自分で畳んでロッカーにしまえるように練習をしています。
お店やさんごっこが近づき、各クラスで何を作って売るかを考え、日々商品作りを頑張っています。うめ組では、動物たちを作った時、本物に近づけようと考え始め、友だちと見せ合いながら自分の作った商品に愛着を持っている様子でした。ふじ組でハンバーガーを作った時には、何が入っているとおいしいかと想像しながら楽しんで商品作りをしていました。どんな商品を作っているのかお子さまに聞いてみてください。
クリスマス会に向けて、練習が始まります。初めて劇に挑戦し、マイクの前に立って台詞を発表します。物語に親しみながら、演じる楽しさを味わっていききたいと思います。

うさぎ組

年長組

日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに、深まる秋の訪れを感じます。子どもたちは散歩先でどんぐりを拾ったり、「いもほりのうた」を歌ったり秋を感じています。
10月に「ハロウィンごっこ」を計画し、お面やお菓子作りを通してハロウィンの雰囲気を楽しみました。9日のお店やさんごっこでは、3歳児クラスのお店にお客さんとして買い物に行きます。ハロウィンごっこでの0・1歳児クラスの友だちとのやりとりの経験を活かして、楽しんでいけたらと思います。
長袖を着ることが増えてきましたが、自分の力で脱ぎ着することが難しい物があります。自分でやりたい、自分でやってみようと頑張っていますので、ゆとりのある、着脱のしやすい衣類の用意をお願いします。

日が暮れるのが一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じます。
園生活最後のお店やさんごっこが近づき、お客さんを思いながら商品作りに励んでいます。体験コーナーでの遊び方の説明や、対応の仕方も考えています。「50円(10円×5)」をどのように使うか、楽しみにお待ちください。
クリスマス会に向け歌を歌ったり、イエスの誕生の意味を知り、劇について話し合いを進めていきます。配役が決まると、台詞や表現の仕方を練習し、みんなで心を合わせて劇を作り上げていきます。また、クリスマス飾りとともにスタンドグラスを作り、光と影の関係に興味を持ちながら幻想的な雰囲気を楽しみます。
楽しい行事が待っていますので、体調管理に気をつけて過ごしていきましょう。

《幼児 11月の目標》

◎冬の生活習慣について……手洗いや衣服の調整といった冬の生活習慣を身につけていきます。

- ・石鹸でしっかりと手を洗いましょう
- ・鼻水が出たらティッシュペーパーで鼻をかみましょう
- ・ポケットに手を入れて歩くと危ないので出しましょう
- ・防寒具のファスナーやボタンを留めましょう

◎けんか(葛藤、つまずき、いざこざ)について……お子さまが「ともだちとけんかした」とご家庭で話すことはありませんか。そのような話を聞くと心配になりますね。けんかは成長の一步です。一歳の頃の「一人遊び」、そして二歳の頃の「平行遊び」(同じ遊びを並んで別々にする)を経て、幼児期に好きな友だちと一緒に何かをする「連合遊び」「協同遊び」へと移行していきます。他者に興味を持ち、関わるようになった中で、けんかをするのは自然な姿です。数々のけんかを通して、様々な感情を経験し、自己をコントロールする力を身につけます。相手の気持ちに気づき、対人関係のルールを知り、心を育む機会です。

- ・けんかをしたときは自分の気持ちを表現しましょう
- ・表現や解決がむずかしいときは、周りの大人に「たすけて」と言いましょう

(先日、近隣の小学校の先生との協議会があり、そこで、困ったときに「たすけて」が言えることが大事であること、特に年長のうちに身につけて入学できるといいということを、小学校の先生が話していました)